

くろ ぼうし
「黒い帽子」



「さわってみよう」



じんけん 絵本

えほん

京都人権啓発推進会議

「ぬいぐるみがやぶけた！」



「こんなとき
なんていえばいいのかな？」



一人ひとりの尊厳と人権が尊重される社会の実現をめざして

21世紀は「人権の世紀」と言われています。

この言葉には、21世紀にすべての「人権」が大切にされる平和で豊かな社会を実現したいという、世界中の人々の願いが込められています。

「人権」は自己実現と幸福追求のための権利といわれています。すべての人の「人権」が尊重されるためには、私たち一人ひとりがお互いの個性や価値観の違いを認め合う心をはぐくみ、それが日常の行動の中に自然に生かされるような「人権感覚」を高めることが大切です。

京都府では、「新京都府人権教育・啓発推進計画」を策定し、府民の皆さんに「人権」について気づき・考えていただく機会となるような様々な取組を進めています。

この『じんけん 絵本』には、4つの作品が収録されており、それぞれの作品は「触れる」「コミュニケーション」「思いやり」「個性」というテーマを持っています。

子どもたちが絵本を楽しみながら、人を思いやるやさしい心や自分を大切にする気持ちをはぐくんで欲しい、そんな願いを込めて作りました。

御家庭で子どもたちと「人権」の大切さについて語り合いながら、『じんけん 絵本』をお楽しみください。

きょうとじんけんけいはつすいしん かいぎ
京都人権啓発推進会議

さわってみよう



触れる

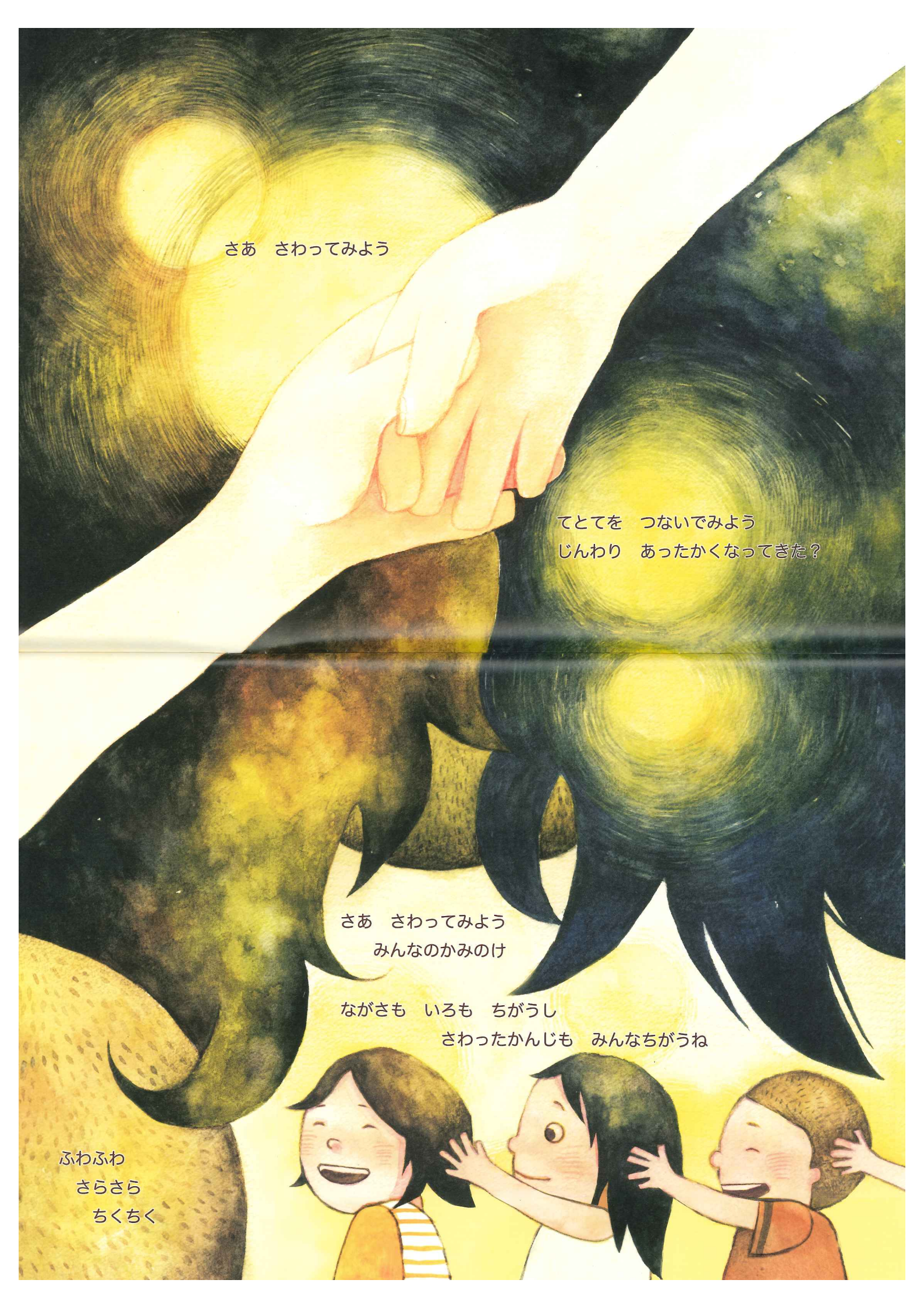
さあ さわってみよう

ぐっと ちからをこめて ちからこぶ
おとこのこにも おんなのこにも
ちゃんと あるんだよ

さあ さわってみよう

あしのうらと うらを ペったんこ
ぼくより きみのほうが
おおきいなあ





さあ さわってみよう

てとてを つないでみよう
じんわり あったかくなってきた？

さあ さわってみよう
みんなのかみのけ

ながさも いろも ちがうし
さわったかんじも みんなちがうね

ふわふわ
さらさら
ちくちく



さあ さわってみよう
がちりした かた
ちいさな かた

みんないっしょに かたを くもう



きみのこと してるけれど
しらないことも たくさんあるね

もっともっと みつけてね

さあ さわってみよう



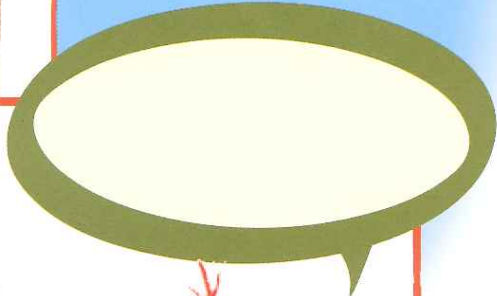
こんなとき
なんていえば いいのかな？



こみゅにけーしょん
コミュニケーション



あさ
おきたら



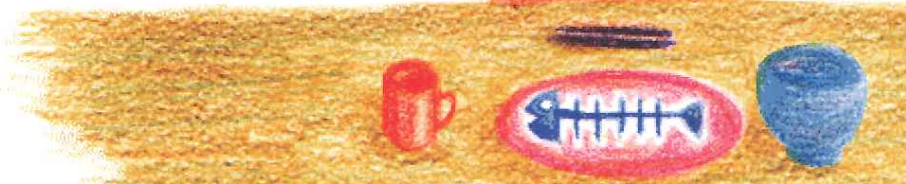
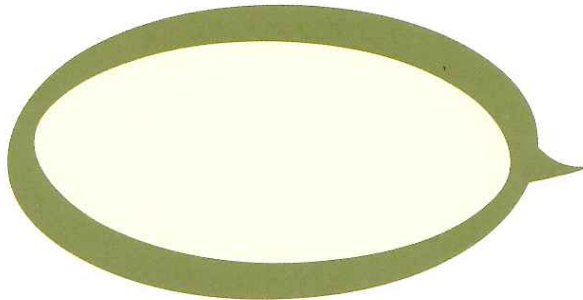
おはよう



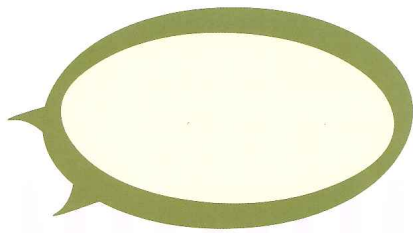
いただきます



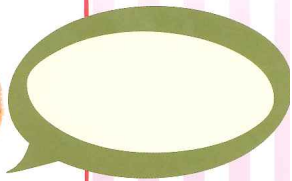
ごはんを
たべて



でかけるときは

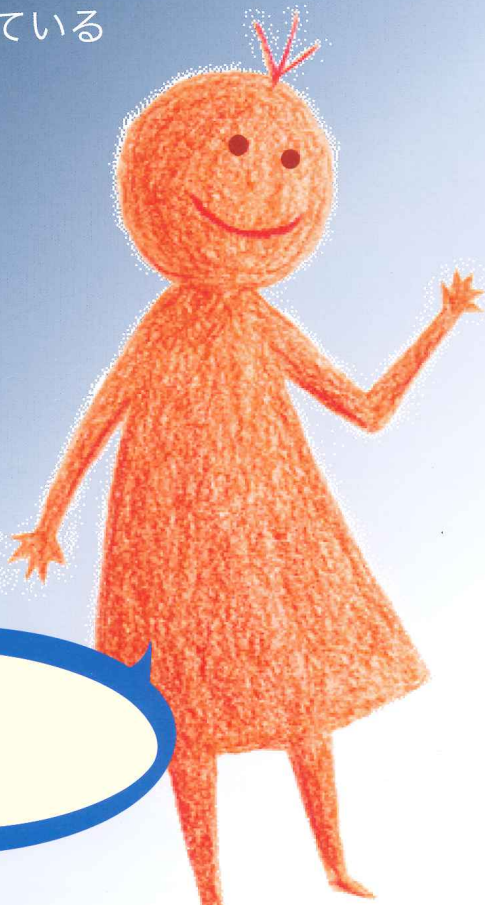
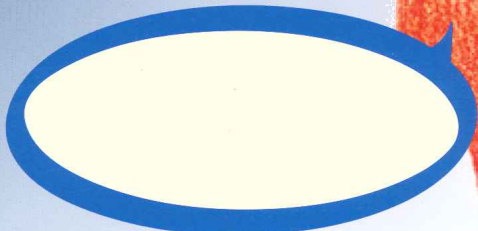


たすけてもらったら



どういたしまして

ともだちが
ひとりでないている





こもらせてしまった



ごめんなさい

どっちかな？



しーらない

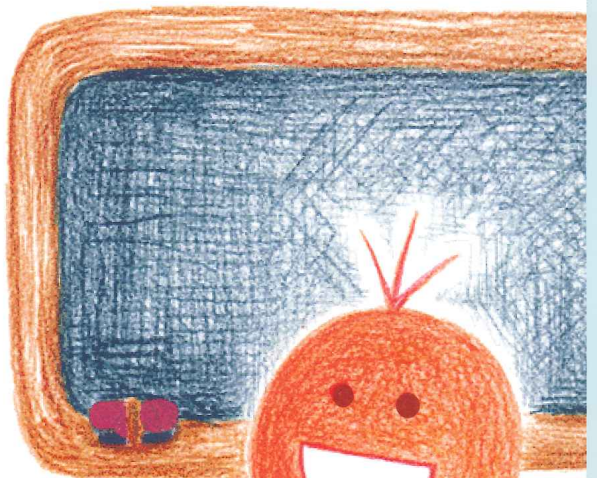


またね

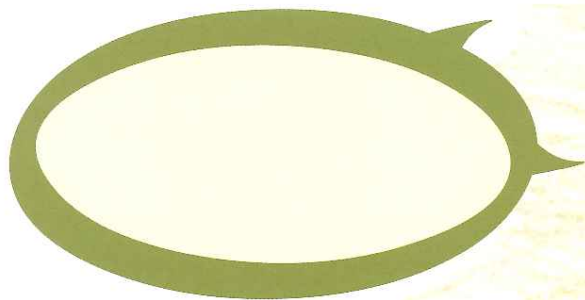
おわかれのあいさつ
だれにでも いっしょかな？



ばいばい



いえにかえったら



ねるまえに



おかえり

ぬいぐるみがやぶけた！



おも
思いやり

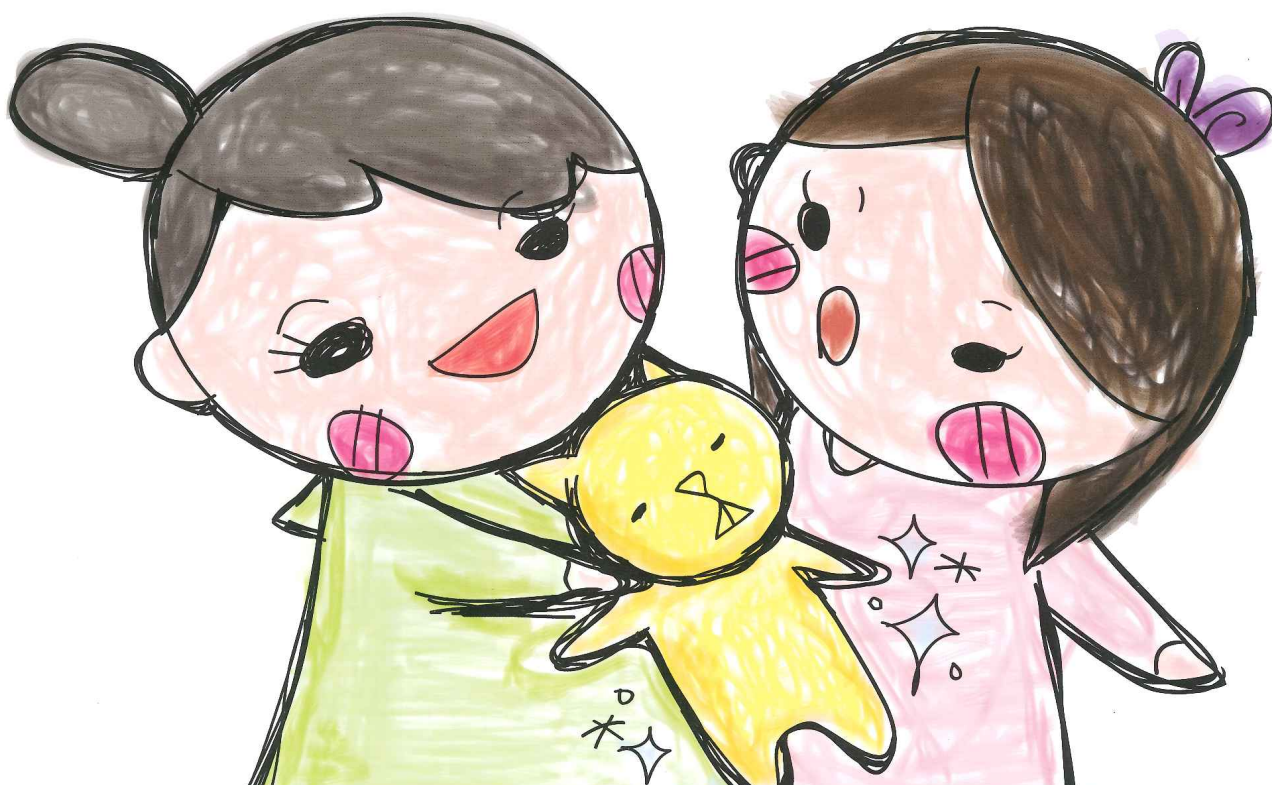
あいちゃんはおかあさんにもらった
ぬいぐるみをがっこうにもってきました

「これをななちゃんにみせよう」



「ななちゃんみて！
これかわいいでしょう！？」
「いっしょにあそぼう～」

「うわ～～かわいい！」



いっしょにあそんでるあいだにとりあいはじまりました



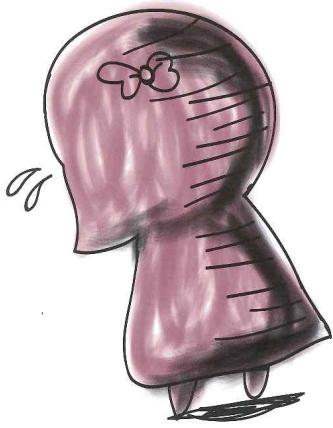
「ななちゃん
はなしてよ！」



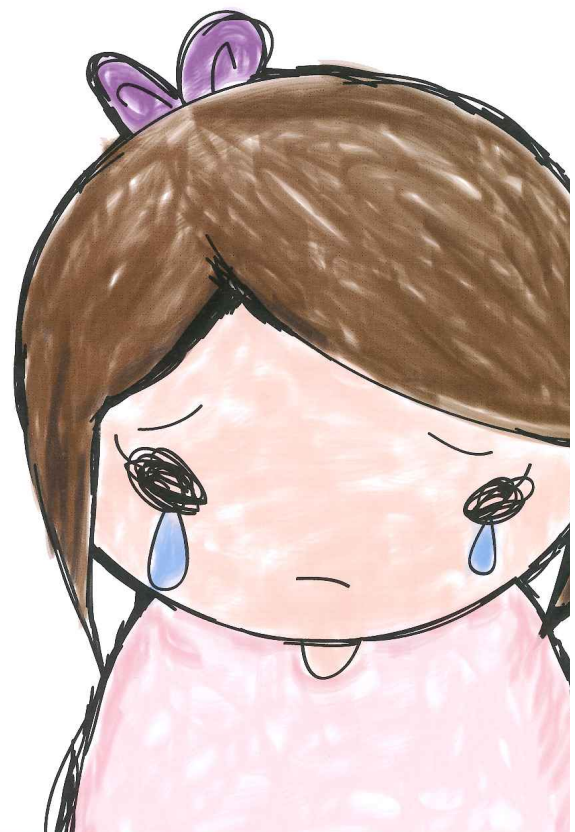
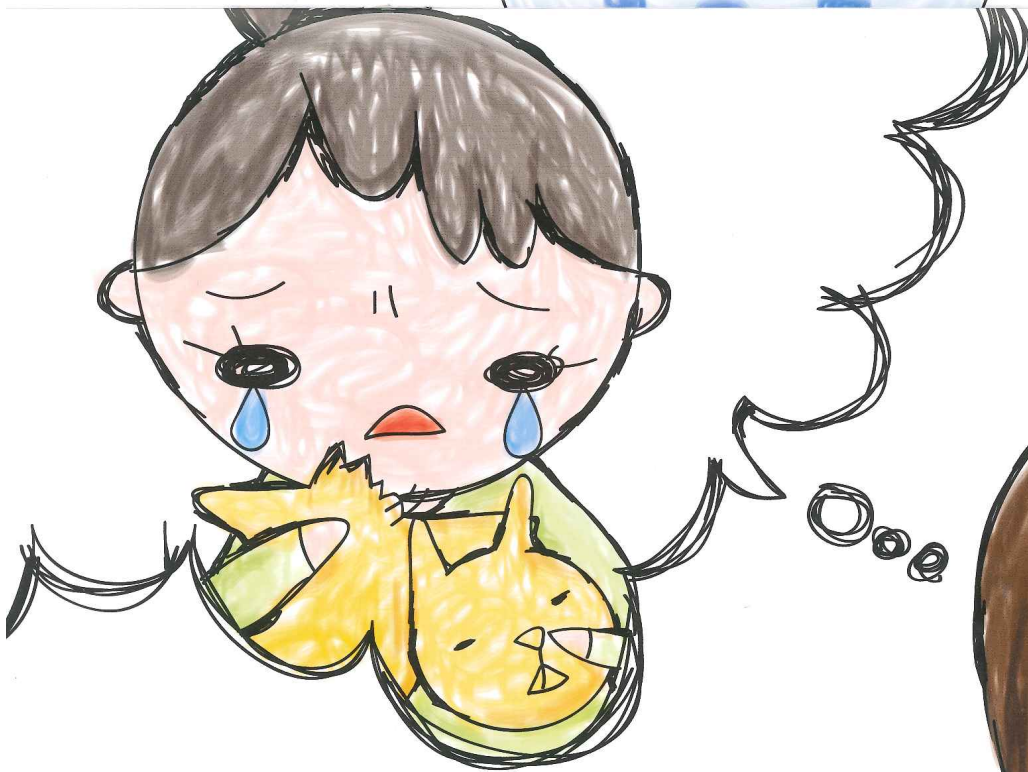
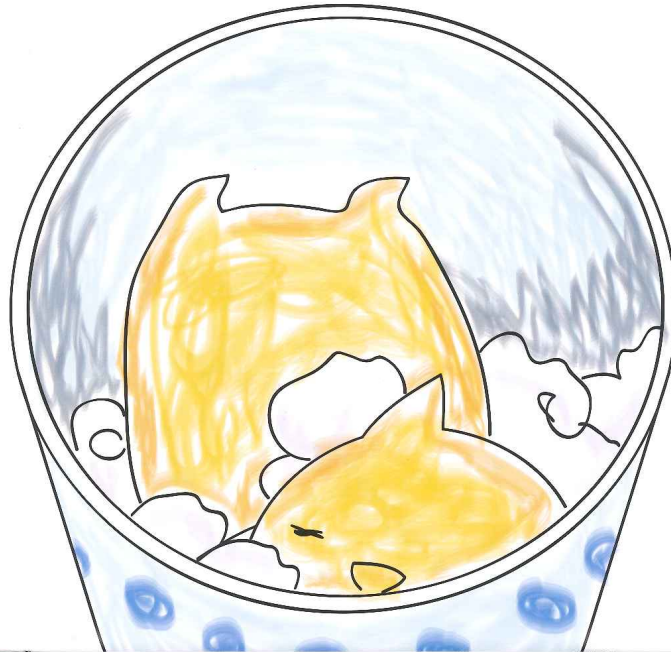
「いやだ、いやだ」



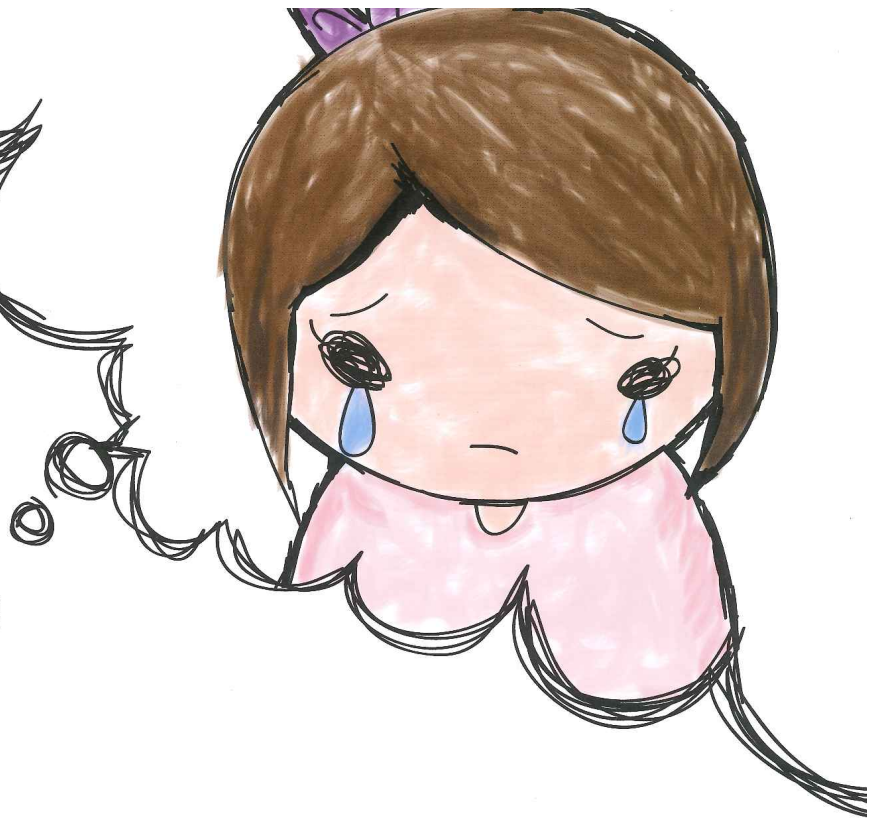
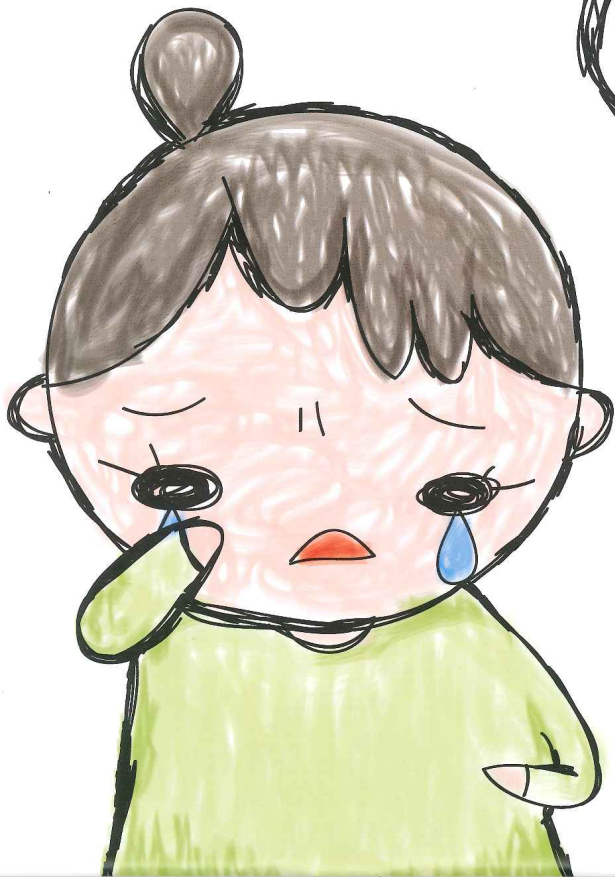
ひっぱりあっているうちに
ぬいぐるみがやぶれてしまいました



ぬいぐるみがやぶれたので
あいちゃんはぬいぐるみをすててしまいました



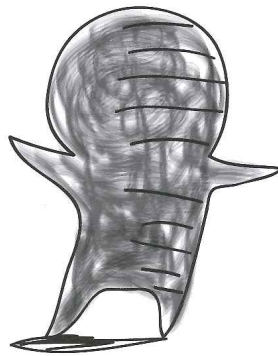
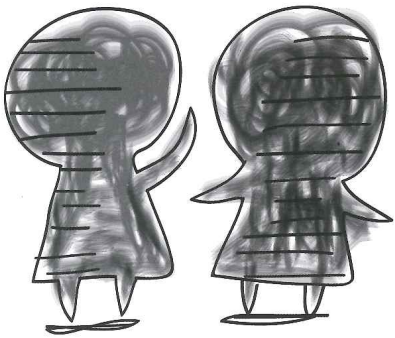
「どうしよう・・・あいちゃんごめんね・・・」



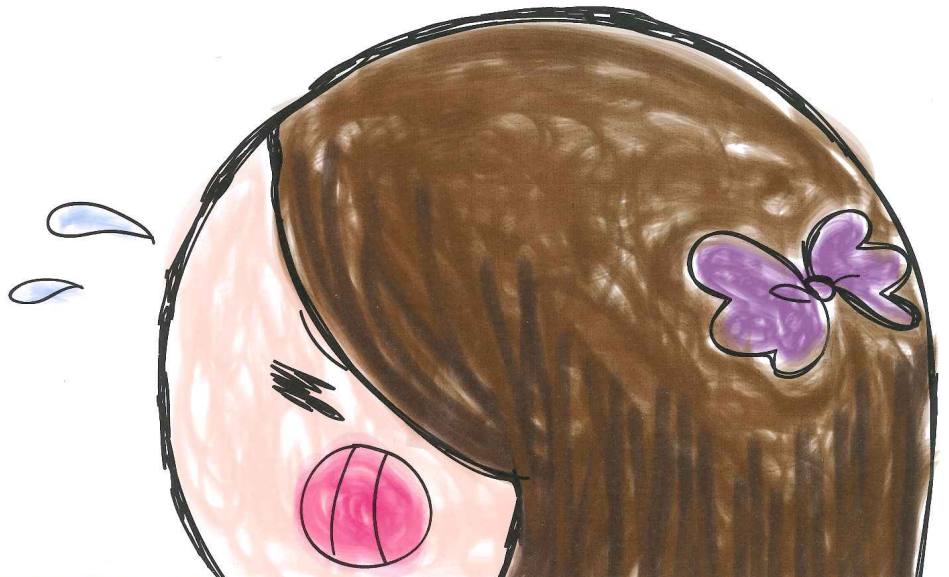
「・・・ななちゃんだいじょうぶかな・・・」

つぎのひ

あいちゃんはがっこうをやすみました



「あいちゃんいないな」





ななちゃんはいぶんのせいだとわかって
ごみばこからぬいぐるみをひろいました

「なおさなきゃ」

ななちゃんはほうたいで
あたまとからだをくっつけました



「わたしのりぼんもつけて・・・
よし！これでかんぺきだ！」

がっこうのかえりにななちゃんは
ぬいぐるみをもってあやまりにいきました



そして
ふたりはなかなかおりしました



くろ ぼうし
黒い帽子

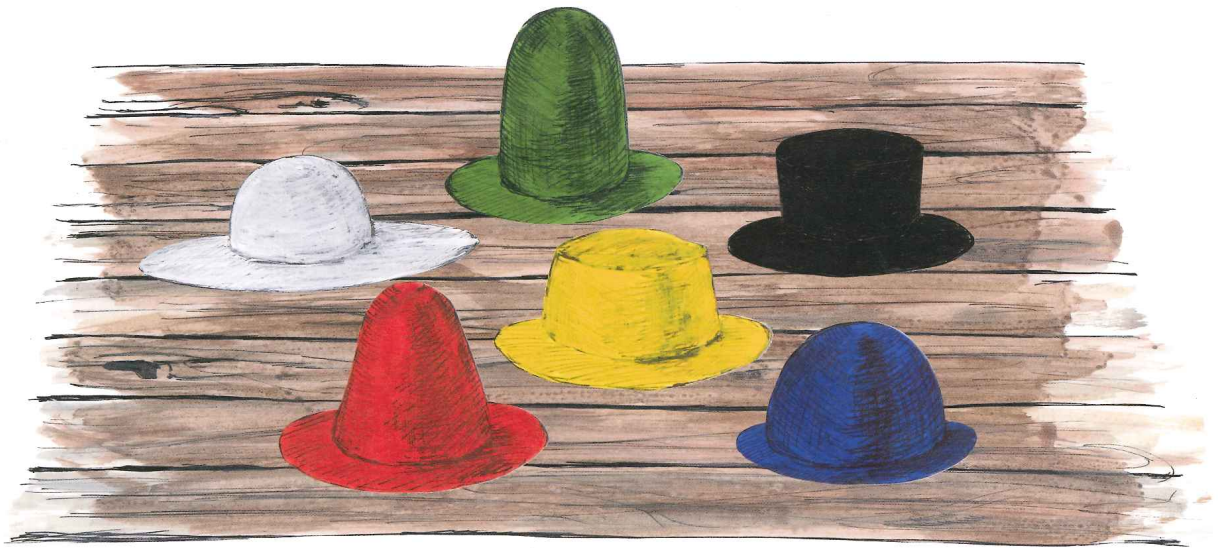


こせい
個性



このまちで毎年秋に行われているパーティーが近づいてきました。
まちじゅうの人が集まるこのパーティーでは、帽子を被ることが慣わしになっており
帽子屋さんにはたくさんのお客さんがやって来ます。

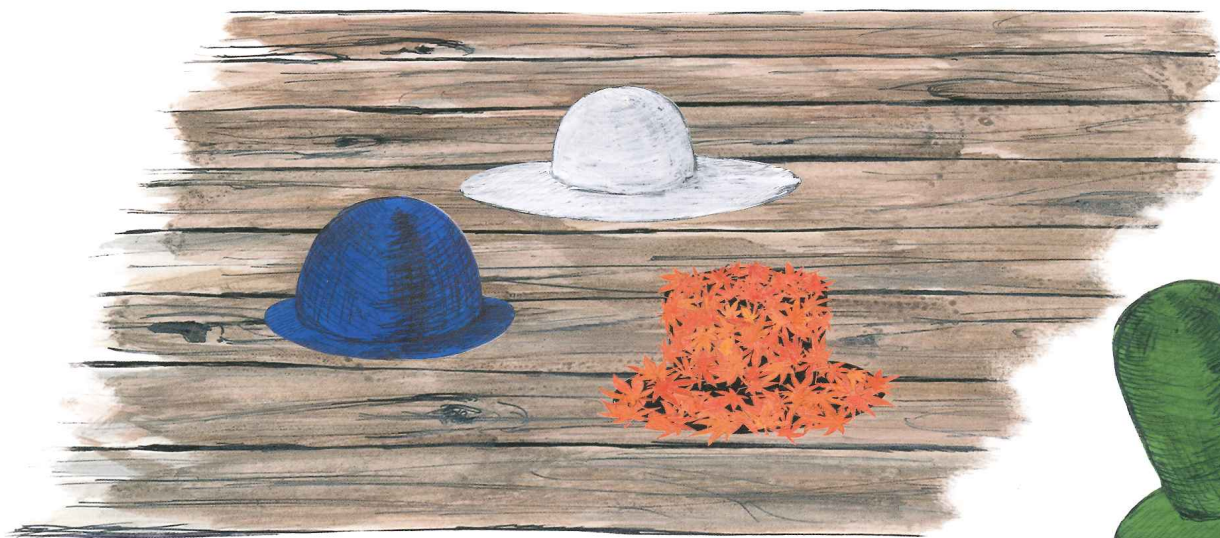
みせ つくえ うえ あたら でき
お店の机の上には新しく出来た
あかいろ あおいろ きいろ みどりいろ くらいろ しろいろ ぼうしたち なら
赤色、青色、黄色、緑色、黒色、白色の帽子達が並べられました。



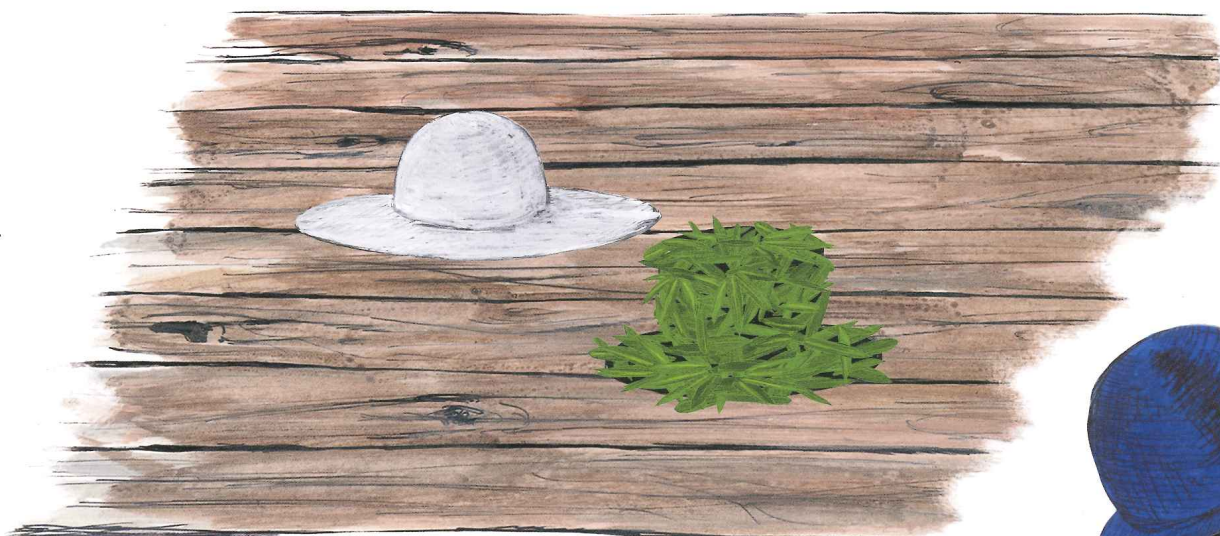
きやく きいろ ぼうし か
するとお客さんが黄色い帽子を買っていきました。
くら ぼうし じぶん くら いろ か おも じしん
黒い帽子は自分が暗い色だから買ってもらえなかったと思ひ自信をなくしてしまいます。



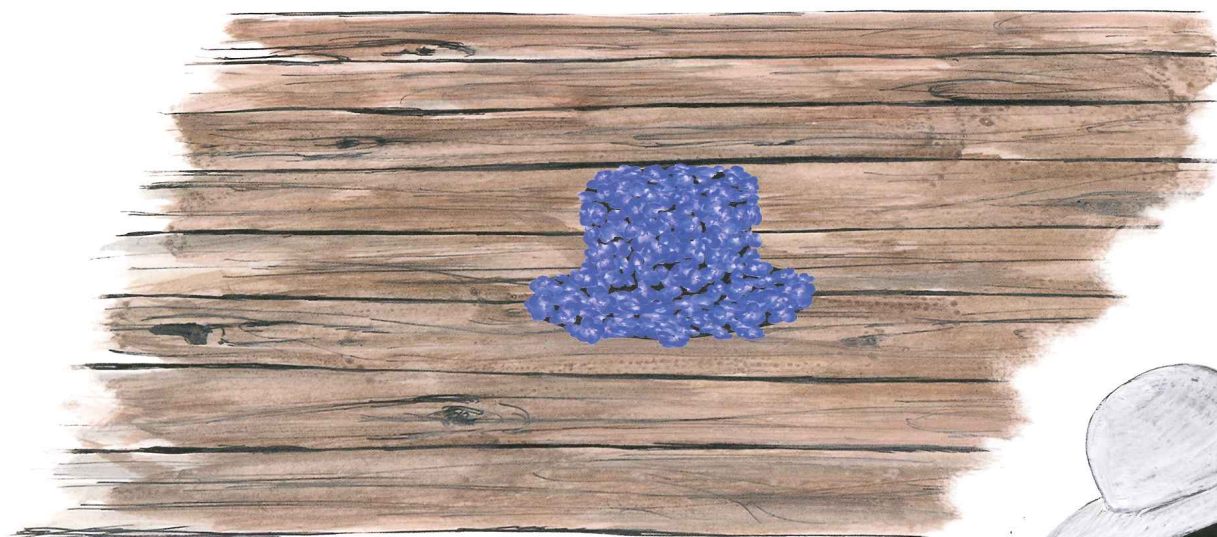
そこで、^{くろ}黒い^{ぼうし}帽子はイチヨウの^{はな}花びらで^{きいろ}黄色い^{ぼうし}帽子の^{まね}真似をしました。
 しかし、^{つぎ}次に^{あか}買われたのは^{あか}赤い^{ぼうし}帽子でした。



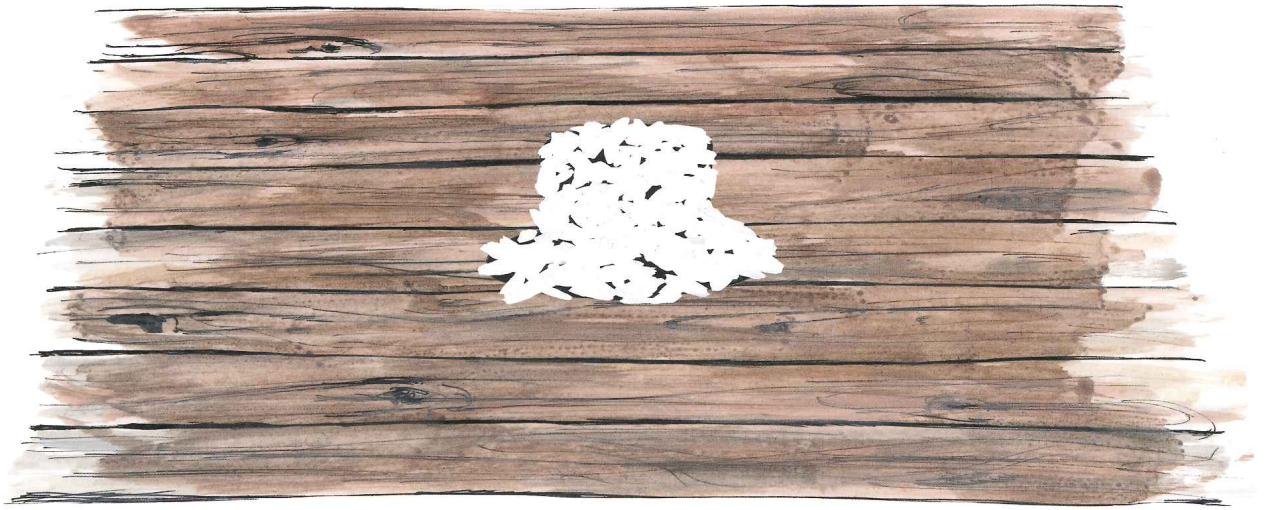
モミジの^は葉で^{あか}赤い^{ぼうし}帽子の^{まね}真似をする^{くろ}黒い^{ぼうし}帽子。
 しかし、^{つぎ}次に^{みどり}買われたのは^{みどり}緑の^{ぼうし}帽子でした。



は みどり ぼうし まね くる ぼうし
ササの葉で緑の帽子の真似をする黒い帽子。
つぎ か かわれたのは あお ぼうし
しかし、次に買われたのは青い帽子でした。



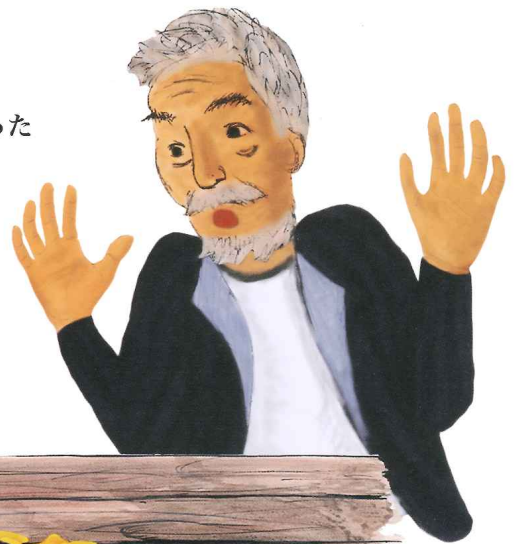
はな ぼうし まね くる ぼうし
ツユクサの花びらで青い帽子の真似をする黒い帽子。
つぎ か かわれたのは しろ ぼうし
しかし、次に買われたのは白い帽子でした。

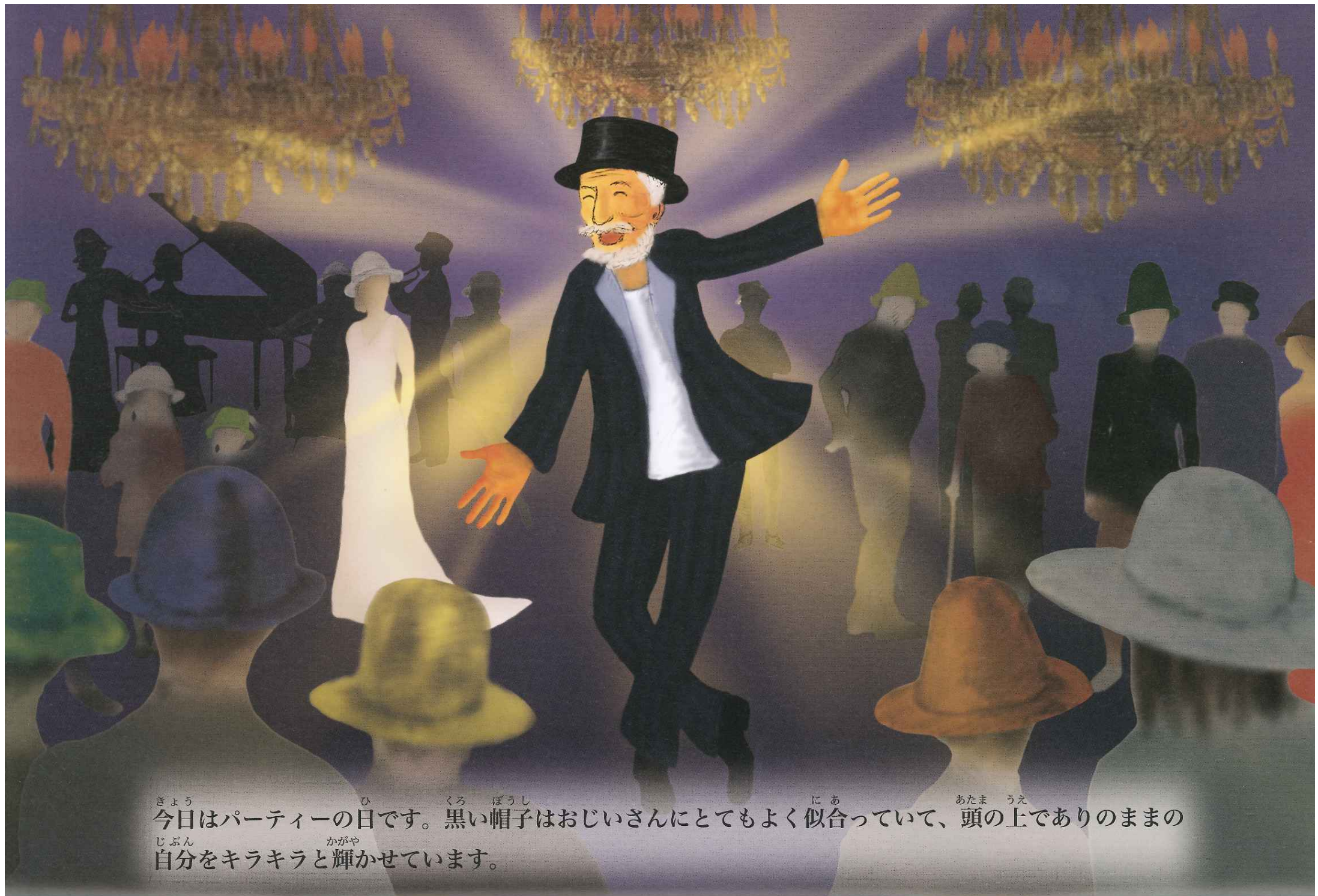


コスモスの花びらで白い帽子の真似をする黒い帽子。
しかし、黒い帽子はなかなかお客さんに買ってもらえません。

パーティーの前日、みんなの真似をしても買ってもらえなかった
黒い帽子は、あきらめて飾りものを取り払いました。

するとそこへ、おじいさんがやってきました。
おじいさんは、一目で黒い帽子が気に入って買っていました。





きょう ひ くる ぼうし に あ あたま うえ
今日はパーティーの日です。黒い帽子はおじいさんにとってもよく似合っていて、頭の上でありのままの
じぶん かがや
自分をキラキラと輝かせています。

せいざく
<制作スタッフ> デザイン・ディレクション：もりもと たけし きょうとさがげいじゆつだいがくきょうじゆ
森本 武 (京都嵯峨芸術大学教授)
そうさく さくが やすい はるか はし みさほ オムタワン マン カン こいで ともゆき いじょう きょうとさがげいじゆつだいがく かんこう がっか
創作・作画：安井 春香、橋 美紗帆、Omtawan Mangkang、小出 朝之 (以上 京都嵯峨芸術大学 観光デザイン学科)
せいざくきょうりよく いたう
制作協力：伊藤 あゆみ

ねん へいせい ねん がつ しょはんはっこう
2011 年 (平成 23 年) 3 月 初版発行

はっこう きょうとじんけんけいはつすいしんかいぎ
<発行> 京都人権啓発推進会議



じんけん えほん

